

新型コロナの治療薬、期限切れた約 250 万人分を昨年度までに廃棄 5 類以降に伴い
2025. 07. 16 テレ朝ニュース



国が医療機関などに無償提供するため購入していた新型コロナウイルスの治療薬について、使用期限の切れたおよそ 250 万人分が昨年度に廃棄されていたことが分かりました。厚労省によりますと、昨年度に廃棄されたのは、アメリカ製薬大手ファイザーの「パキロビッド」など、新型コロナウイルスの飲み薬およそ 250 万人分です。

国は新型コロナウイルスが流行した時に、医療機関や薬局に無償で薬を提供する目的で購入しましたが、2023 年 5 月に新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが 2 類相当から 5 類になったことで、無償での提供ができなくなりました。

そのため、厚労省は再度流行する可能性に備えて購入した飲み薬を期限が切れるまで保管する方針を、去年 8 月に決めていました。

今後も、使用期限が切れたものから順次、廃棄していくということです。

コロナ薬 250 万人分廃棄 国購入、2400 億円相当 共同通信 7/16

国が医療機関などに無償提供するために購入した新型コロナウイルス感染症の飲み薬約 250 万人分が、使用期限を迎え、昨年度に廃棄されたことが 16 日、厚生労働省への取材で分かった。購入額は明らかにしていないが、現在の薬価で成人軽症患者の標準的な使用量を基に計算すると約 2400 億円分に相当する。

飲み薬は、流行期に国が緊急的に購入し、無償提供して治療に使った。だがメーカーによる薬の一般流通が始まった上、2023 年 5 月に新型コロナの感染症法上の位置付けが 5 類へ移行したのに伴って提供できなくなり、大部分が未使用のまま保管されていた。

新型コロナウイルス感染症治療薬「パキロビッド」の特徴と効果、副作用

医学博士 三島 渉（横浜弘明寺呼吸器内科・内科クリニック理事長）2025 年 07 月 11 日



パキロビッドは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の治療に用いる飲み薬です。高齢者や持病のある方など、重症化リスクの高い人のうち、軽症から中等症の患者さんに処方されます。この記事では、パキロビッドの使い方や効果、副作用などについて解説します。初めて飲む方や、服用に不安がある方は、ぜひ読んでください。

1. パキロビッドとはどのような薬か

パキロビッドは「ニルマトレビル」と「リトナビル」という2つの成分が配合された薬です。2種類の薬が、1つのパッケージに入っています。変異株への有効性も期待されている薬です。

2つの成分のうち、ニルマトレビルがウイルスが作られるのに必要な酵素の邪魔をし、ウイルスが増えるのを抑える、抗ウイルス効果を持つ薬です。リトナビルは、ニルマトレビルが体内で代謝・分解されるのを遅らせて、ニルマトレビルの効果を最大限に発揮できるようにする薬です。

2. パキロビッドの用法・用量

パキロビッドは「1日2回」「12時間ごとに」「5日間」、計10回内服する薬です。ただし、内服開始のタイミングによっては、日付をまたいで6日間となることもあります。通常、パキロビッドは1回につき1パッケージ、つまり、ニルマトレビルを2錠、リトナビルを1錠、合計3錠を内服します。食事の時間に関わらず服用できるので、1日2回、12時間ごとになるように時間を決めて服用してください。

ただし、患者さんの状態や併用している薬によっては、ニルマトレビルを1錠、リトナビルを1錠、のように、1回の内服量を調節して使用することもあるので、主治医や薬剤師の指示に従って服用してください。

3. パキロビッドの副作用

副作用の少ない薬ではありますが、少数の人に、以下のような症状が現れることがあります。・味覚障害・下痢・吐き気・めまい

ただし、これらの症状はコロナに感染しても起こりうるもので、薬の副作用なのかどうか見分けるのは難しいでしょう。もし、このような症状が現れても、軽度であればそのまま少し様子を見てください。副作用を過剰に恐れる必要はありませんが、服用前と異なる症状が出たり、1、2日経っても症状が持続していたり、悪化するようなことがあれば、主治医に相談しましょう。

4. 使用上の注意点

パキロビッドに含まれるリトナビルは、薬の代謝・分解を遅らせる薬です。そのため、併用する薬の効果に、大きな影響を与えることがあります。

使用中の薬がある人は、必ず主治医と薬剤師に伝えてください。一緒に飲むと、重大な副作用が現れる恐れのある薬がたくさんあります。

服用の必須条件として、成人または12歳以上で体重が40kg以上の小児であることです。12歳以上でも体重の条件がありますので、注意してください。

パキロビッドは、症状が現れてから「5日以内」に飲み始めないと、増えたウイルスを減らすほどの効果が期待できない薬です。処方されたら、その日からすぐに飲み始めるようにしてください。

5. パキロビッドの薬価

- ・パキロビッド 300：12538.6 円／シート（5日分：62693.0 円）

- ・パキロビッド 600：19805.5 円／シート（5日分：99027.5 円）2024年3月で公費による支援は終了し、4月から医療費の窓口負担割合に応じ、パキロビッドが処方された場合、最大約30,000 円の自己負担が生じることとなりました。